

市長賞

風蘭ふうらんは小さくあれど凜りんと咲き夫の柩ひしきに孫らと供ふ

太田恭子

【評】 純白の美しい花を咲かせる風蘭。甘い香りが特徴的なこの花は、樹木や岩の上にも着生し、日陰でも育つことのできる多年草です。常緑で、ゆっくりとしたペースで成長していくことで知られています。「小さくあれど凜と咲く」この風蘭に、作者も孫たちも故人の人柄を重ね、人生を偲んでいることでしょう。妻子や孫たちのために励んでくれた人生が浮かび上がります。人生の最後にこんな挽歌を贈られる故人はとても幸せな男性です。